2026年度　第52回　公益社団法人 全国助産師教育協議会　全国研修会

# 出生数減少時代の助産師教育

－ どのようにして社会の要請に応えるか －

**日程**

2027年 2/11（木・祝）

12：30～15：30

**会場**

Zoom開催

オンデマンド配信はございません

オンライン開催

**プログラム**

＊本研修の第一部は、アドバンス助産師申請および更新要件の選択研修105分に該当します。

12:30　**会長挨拶　正岡経子会長**

12:35　**第1部　話題提供**

周産期医療を支える助産師には、相応の実践能力が求められる。助産師の実践能力獲得には実践と経験が必須だが，運営ガイドライン別表12，12－1に記された到達度水準Ⅰを満たすための機会を得ることが難しくなっている。出生数減少時代で，助産師教育の質を保証し向上させるためには，どのような教育が必要なのか，それぞれの立場から話題提供いただく。

1. **職能からみた出生数減少時代の助産師教育（15分）** ―― 日本看護協会助産師職能委員長 片岡弥恵子　氏
2. **社会からみた助産師教育への期待（15分）** ―― NHK報道局　金澤志江　氏
3. **出産を経験した女性からみた助産師教育への期待（15分）** ―― 松浦めぐみ　氏
4. **臨床から見た助産師教育への期待（15分）** ―― 筑波大学附属病院 宮﨑多栄子　氏
5. **全国助産師教育協議会の質保証の取り組み（15分）** ―― 全国助産師教育協議会理事 谷口千絵　氏
6. **助産基礎教育における臨地実習の在り方に関する研究（30分）** ―― 全国助産師教育協議会理事 正岡経子　五十嵐稔子 蛎﨑奈津子
   （厚生労働省行政推進調査事業費補助金　2025年度研究報告）

14:20　**休憩**

14:30　**第2部　意見交換および報告（参加希望者のみ）**

**次の2点についてグループごとに意見交換，数班にご発表いただく**

① 別表12，12 - 2の到達水準（実践能力Ⅰ：少しの助言で自立して実施できる，Ⅱ：指導の下で実施できる　実習Ⅰ：単独で実施できる）を満たすための助産師教育の工夫や方略

② これからの社会に必要とされる助産師教育

15:20　**まとめ**

15:30　**閉会**

**参加費**

会員　**1,000円**（税込）　　非会員　**2,000円**（税込）

## お申し込みはこちらから　　申込締切　2027年1月14日（木）

左のQRコードから
お申込み下さい。

問い合わせ

公益社団法人全国助産師教育協議会
第52回全国研修会事務局

zenjomid.1965@car.ocn.ne.jp

主催：全国助産師教育協議会　北海道・東北地区